

(1) 目 標

ちいちゃんの様子や会話に着目しながら、ちいちゃんの家族に対する思いや願いを想像し、読み取ることができる。

父の行動や会話・コスモスの様子に着目しながら、ゆみ子に対する父の思いや願いを想像し、読み取ることができる。

(2) 指導に当たって

ア 3年生は、3の場面の読み取りについては、前時の活動と同じ流れで読み取る学習であるので、読みの視点の1つに重点を置くことで自力解決することができる。4年生は、物語の中心に迫る場面の読み取りであるため、深める段階では、教師が直接関わる時間を多くとるようにしたい。そこで、両学年の学習のねらいを達成するために指導過程に「ずらし」を行い、深める段階では、教師が直接かかわる時間を多くとるようにしたい。3年生は、前時までに次時の学習課題と学習の進め方で確認し、本時は、調べる活動から始められるようにする。その際、読み取りの視点と学習の手順を再度確認し、見通しをもって主体的に学習が進められるようにしたい。4年生は、情景を手がかりに父のゆみ子への思いを想像しながら読み取り、物語の中心に迫りたい。

イ 間接指導時に、子どもたちが主体的に読み取っていくために、「わたる」前の直接指導時に、学習内容や解決の見通しをしっかりと把握させた上で、その内容を小黒板にまとめ、掲示したり、個々の学習状況を確認に見取る視点を明確にし、それに応じた個別指導を行ったりする。また、直接指導時においても、ワークシートや短冊の活用など、子どもたちが自力で解決できるように工夫したい。

ウ 両学年ともにガイド学習を位置付け、ガイド役には、事前に学習の進め方を指導しておきたい。また、授業中においても、子どもたちの学習状況に応じて、ガイド役には、指名する子どもや話し合いの内容などを伝え、効果的な学習が進められるようにしていきたい。

エ ちいちゃんの家族に対する思いを読み取らせるために、繰り返される表現に着目させ、繰り返されている意味や効果について考えさせたい。また、叙述から読み取ったちいちゃんの様子をまとめさせることで、ちいちゃんの家族への再会の願いの強さを感じ取らせたい。

オ 異学年で学ぶよさを生かすために、本時の学習で学習したことを相互に交流するために、本時の学習で学んだことを相互に交流するという点で共通の学習活動をしているという一体感をもたせ、共に学び合おうとする態度を育てていきたい。

エ コスモスをゆみ子に手渡して戦争に行く父の思いや願いを読み取らせるために、父の行動や会話・コスモスの様子を表す叙述に着目させ、ゆみ子に強くたくましく、そして幸せに生きてほしいと願う父の思いを感じ取らせたい。

(3) 展 開 [○：留意点, ◎：授業充実の3ポイント, ★：考えを確かにする場面, □：評価, ※：資料]

指導上の留意点	主な学習活動 (第3学年)	過程	位置/時間	過程	主な学習活動 (第4学年)	指導上の留意点
◎ 次時の学習範囲の確認と音読、学習の進め方を確認させる。 (目標の明確化)	1 次時の学習のめあてを確認する。 (1) 次時の学習範囲を音読する。 (2) 次時の学習課題を確認する。 ちいちゃんはなぜ、家からはなれなかったのだろうか。	つかむ		たしかめる	【前時の学習活動】 6 お父さんとお母さんの思いを考えて音読をする。 ・ 悲しみをこらえ明るくふるまっている父母の様子が分かるように音読する。	◎ お父さんとお母さんの思いがよく伝わるように情景の読み方を考えさせ工夫しながら読ませる。 (確かめ・見届け)
○ 次時の学習の進め方を確認しておく。 ○ 学習の進め方を小黒板にまとめ、掲示する。	2 学習の進め方を確認する。 ○ ちいちゃんの様子や言ったことにサイドラインを引く。 ○ ちいちゃんの様子をワークシートにまとめる。 ○ はなれなかったわけを考え、短冊に記入し、掲示する。 ○ ちいちゃんが家からはなれなかったわけを発表する。	見通す				
○ 本時の学習の進め方を再度確認する。 ○ 学習の進め方を小黒板にまとめ、掲示する。 ★ ちいちゃんのはなれなかったわけを考えさせるために、ちいちゃんが深くうなずく様子に着目させる。 (考えをつくる場) ○ ガイドの進行で(3)まで学習を進める。早くすんだら(4)の活動をする。	3 はぐれてしまったちいちゃんの様子を考える。 (1) ちいちゃんの様子や言ったことにサイドラインを引く。 (2) ラインを引いた部分を参考にワークシートに記入する。 (3) ちいちゃんの様子や言ったことから、はなれなかったわけを考え、短冊に記入し、黒板に掲示する。 (4) ちいちゃんが家からはなれなかったわけを発表し合う。	調べる ⑮	⑤	つかむ ④	1 本時の学習のめあてをつかむ。 (1) 前時の学習課題を想起する。 (2) 本時の学習範囲を音読する。 (3) 本時の学習課題を確認する。 お父さんがゆみ子にわたしたコスモスには、どんな思いがこめられているのだろうか。	○ 本時の学習につなげるために、前時の学習について想起させる。 ◎ ガイドの進行で学習範囲の音読と学習課題の確認をする。 (目標の明確化)
★ 読み取りを深めるために、家からはなれなかったわけが、ちいちゃんの様子や言ったこととどのようにつながりをもっているか考えさせる。 (考えを交流させる場)	4 読み取ったことをもとに、はぐれてしまったちいちゃんの様子について考える。 (1) ちいちゃんの様子や言ったことについて話し合う。 ○ ちいちゃんの様子 ・ なくのをやっところらえて言いました ・ 深くうなずきました ・ また深くうなずきました ○ ちいちゃんの言ったこと ・ 「おうちのどこ。」 ・ 「ここがお兄ちゃんとあたしの部屋。」 ・ 「お母ちゃんとお兄ちゃんは、きつと帰ってくるよ。」 (2) ちいちゃんの様子から家からはなれなかったわけを考え、発表し合う。 ・ お母ちゃんとお兄ちゃんはこの家に帰ってくるとしんじているから ・ またお兄ちゃんとかげおくりをして遊びたいから。 ※板書を構造化する。 ※ワークシートとの一体化。	深める ⑫		見通す ④	2 学習の進め方を確認する。 ○ コスモスの様子やお父さんの様子にサイドラインを引く。 ○ コスモスの花・お父さんの様子をワークシートにまとめる。 ○ お父さんのゆみ子への思いを考え、短冊に記入し掲示する。 ○ どんな思いをこめて一輪のコスモスを渡したか発表する。	○ 本時の学習の進め方を確認する。 ○ 学習の進め方を小黒板にまとめ、提示する。
◎ 自分の考えと友達のことを比べるために、似ているところ・違うところを話し合わせる。 ちいちゃんのはなれなかったわけが本文のどの部分から分かるのかも考えさせたい。 (山場の工夫)	5 本時の学習のまとめをする。 ちいちゃんはお母さんやお兄ちゃんがきつと帰ってくるとしんじていたから家からはなれなかった。	まとめる ⑥		調べる ⑬	3 一輪のコスモスをわたすお父さんの思いを考える。 (1) コスモスの花・お父さんの言動をワークシートにまとめる。 (2) お父さんの思いを短冊に書いて、掲示する。 4 読み取ったことをもとに、一輪のコスモスをわたすお父さんの思いを考える。 (1) コスモスの花やお父さんの様子について考える。 ○ コスモスの花 ・ プラットホームのはしっぽの、ごみすて場のような所に、わすれられたようにさいていた ○ お父さんの言ったこと ・ 「さあ、一つだけあげよう。一つだけのお花、大事にするんだよう。」 (2) ゆみ子に一輪のコスモスをわたすお父さんのゆみ子への思いを考え、発表し合う。 ・ このコスモスのように強くたくましく明るく生きていくなだよ。 ・ お母さんと一緒に幸せにくらすんだよ ・ 元気に大きくなるんだよ。	★ お父さんのゆみ子に対する思いを考えさせるために、コスモスの咲いている場所や様子、お父さんの言動に着目させる。 (考えをつくる場) ★ 読み取りを深めるために、お父さんの思いが、コスモスの花の様子とどのようにつながりをもっているか考えさせる。 (考えを交流させる場) 【評価と手だて】 コスモスの様子やお父さんの言ったことにサイドラインを引き、叙述に即して読んでいるか。 ※ 戸惑っている子どもがいたら、教師がやり方を示して取り組ませるようにする。
◎ 家族がきつと帰ってくると信じている様子やひとりぼっちで細かい様子がよく分かるように、会話文などの読み方を考えさせ工夫しながら読ませる。 (確かめ・見届け)	6 ちいちゃんのはなれなかったわけを考えて音読する。 ・ ちいちゃんの様子や言ったこととはなれなかったわけのつながりを想像しながら音読する。 7 次時の学習のめあてを確認する。 (1) 次時の学習範囲を音読する。 (2) 次時の学習課題を確認する。 ちいちゃんは何で、一人でかげおくりをしたのだろうか。	確かめる ⑩		深める ⑪	4 読み取ったことをもとに、一輪のコスモスをわたすお父さんの思いを考える。 (1) コスモスの花やお父さんの様子について考える。 ○ コスモスの花 ・ プラットホームのはしっぽの、ごみすて場のような所に、わすれられたようにさいていた ○ お父さんの言ったこと ・ 「さあ、一つだけあげよう。一つだけのお花、大事にするんだよう。」 (2) ゆみ子に一輪のコスモスをわたすお父さんのゆみ子への思いを考え、発表し合う。 ・ このコスモスのように強くたくましく明るく生きていくなだよ。 ・ お母さんと一緒に幸せにくらすんだよ ・ 元気に大きくなるんだよ。	◎ 自分の考えと友達のことを比べるために、共通点や相違点を話し合わせる。お父さんのゆみ子に対する思いを読み取らせるために情景にも着目させる。 (山場の工夫)
◎ 次時の学習範囲の確認と音読、学習の進め方を確認させる。 (目標の明確化)	6 ちいちゃんのはなれなかったわけを考えて音読する。 ・ ちいちゃんの様子や言ったこととはなれなかったわけのつながりを想像しながら音読する。 7 次時の学習のめあてを確認する。 (1) 次時の学習範囲を音読する。 (2) 次時の学習課題を確認する。 ちいちゃんは何で、一人でかげおくりをしたのだろうか。	確かめる ⑩		まとめる ②	5 本時の学習のまとめをする。 お父さんは、ゆみ子がたくましく明るく生きてくれることを願って、一輪のコスモスをわたした。	【評価と手だて】 コスモスの花やお父さんの様子を表す言葉と、ゆみ子に対する思いのつながりを考えながら読み取ることができたか。 ※ 戸惑っている子どもには、コスモスがどんな場所に咲いていたかを考えさせる。
○ 異学年で学ぶよさを生かすために、学習の成果を4年生に知らせたり、4年生の学習の成果を聞いたりして学習の成果を認め合えるようにする。	本時の学習を振り返り、次時の学習について話し合う。		②	確かめる ⑥	6 お父さんのゆみ子に対する思いを考えて音読する。 ・ お父さんのゆみ子へ対する思いが伝わるように、音読する。	◎ ゆみ子を思うお父さんの気持ちがよく伝わるように、会話文などの読み方を考えさせ工夫しながら読ませる。 (確かめ・見届け)
			②			○ 異学年で学ぶよさを生かすために、学習の成果を3年生に知らせたり、3年生の学習の成果を聞いたりして学習の成果を認め合えるようにする。